

あつま 生涯学習だよりー特別号ー

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

生涯学習だより特別号って??

生涯学習だよりは、1994年（平成6年）4月から「教育委員会だより」から名称を変えて、毎月第4金曜日に発行している広報紙です。これまで、教育委員会の取組や学校の教育活動のほか、文化団体、スポーツ団体の紹介等を掲載してきました。

特別号は年に1回、一つのテーマを取り上げた特集記事をカラー版で皆さんにお届けするものです。今年度は、第20回の記念大会でもあった「集まりンピック」を取り上げ、これまでの歴史とともに紹介していこうと思います。

『集まりンピック(町民体育祭)』～始まりについて～

集まりンピックの元の名称である「町民体育祭」は、1964年（昭和39年）に開催された「東京オリンピック」の開催を記念し、「スポーツやレクリエーションを通じて町民の体力の向上と親睦を図り、明るく豊かなまちづくりに寄与すること」を目的に始めました。

記念すべき第1回目は、1964年8月20日に当時の厚真中学校グラウンド（現在の新町パークゴルフ場）で開催されました。参加したのは16自治会、町民は約2,000人との記録が残っています。

現在の「集まりンピック」の名前が生まれたのは、2001年（平成13年）に開催された第36回大会からです。「厚真」と町民体育祭の開催のきっかけになった「オリンピック」を掛け合わせて「集まりンピック」と命名されました。

【町民の2人に1人が参加！】

最多参加率を記録しているのは、1978年（昭和53年）開催「第14回町民体育祭」で27自治会、町民3,500人が参加した記録です。当時の厚真町の総人口は6,916人だったため、町民の半数が参加していたという驚きの記録です！

まだ、コロナ禍の余波が残る中、開催した2023年（令和5年）「第20回集まりンピック（第55回町民体育祭）」での参加人数は、419人でした。このことから、当時は町民体育祭が町の一大イベントであったことが分かります。



【第1回町民体育祭のプログラム】

- | | |
|-------------|------------|
| ① 鼓笛隊演奏 | ⑩ 東京五輪音頭 |
| ② ラジオ体操 | ⑪ 人工衛星 |
| ③ 東京五輪音頭 | ⑫ 聖火リレー |
| ④ 厚真音頭 | ⑬ 紅白玉入れ |
| ⑤ むかで競争 | ⑭ 年齢別女子リレー |
| ⑥ スウェーデンリレー | ⑮ 年齢別男子リレー |
| ⑦ 安全運転 | ⑯ 職域リレー |
| ⑧ 厚真音頭 | ⑰ オリンピックの歌 |
| | ⑱ ラジオ体操 |

※⑭・⑮は自治会対抗種目

第20回集まりンピック！

第20回集まりンピック（第55回町民体育祭）が2023年8月20日（日）にかしわ公園野球場で開催され、コロナの影響で4年振りの開催となる今大会には12自治会など合計419人の参加がありました。また、今大会は20回目の記念大会となっており、特別ゲストや参加者へ記念品が渡されました。ゲストの皆さんには、自治会対抗種目にも助っ人として登場していただきました。強力な助っ人の登場に会場は大盛り上がり。白熱した試合を繰り広げてくれました。



「あつまくん電鉄」
子どもたちが主役のチーム対抗リレー！



「混合年代別リレー」
自治会ごとに総力をあげてのリレー！



「だいにっないで」
布を広げてボールを落とさないように運びます。



「借り人競争」
お題に沿った人を会場内から探します。



「目指せ！ホールアウト」
ホールインワンを決めてゴールを目指します。



「チャレンジ・ザ・ギネス」
長縄跳びを何回跳べたか競います！

上記の種目を合わせて、全12種目行いました。
子どもから大人まで、幅広い世代の方に活躍していただきました！

特別ゲスト

特別ゲストとして、元バスケットボール選手の折茂武彦さん、元女子バレーボール選手の成田郁久美さん、元スピードスケート選手の鈴木靖さん、女子サッカーチームのノルディーア北海道の皆さんをお招きしました。皆さんには、お昼休み中のイベントとして、トークショー、バスケ・バレーの対決、サッカーのデモンストレーションを行っていただきました。ゲストの皆さんが得意とする競技について教えてもらえる時間もあり、プロの選手たちと交流ができる、貴重なひと時となりました。



トークショー
(鈴木さん、ゲストの皆さん)



サッカーのデモンストレーション
(ノルディーア北海道の皆さん)



バスケ対決(折茂さん)



バレーの指導(成田さん)

第1回町民体育祭

1964年（昭和39年）開催の「第1回町民体育祭」に参加した町民の方に、当時のエピソードを伺いました。一番印象に残っているのは、代表として出場した自治会対抗リレー（年齢別女子リレー）、当日は6、7チームが参加していました。いざ、バトンを受け取って走り出した時には、最下位から2番目の順位と厳しい状況でしたが、持ち前の足の速さを活かして走者を次々と追い抜き、優勝した大活躍のお話を聞くことができました。体育祭の終了後には、自治会の皆さんで公民館に集まり盛大にお祝いをしました。また、当時住んでいた当麻内（現在の豊沢）から会場まで移動するのに、車も自転車も普及しておらず、馬車などで移動したこと、種目の一つ「厚真音頭」を公民館に集まり夜まで練習したこと、真剣に種目へ取り組むあまり、参加者同士が衝突してケンカが起きて、会場にいる人は出場者の応援よりもケンカを止めに入るため、人だかりができていたことをよく覚えているという貴重なお話を伺うことができました。

「当時は今よりも参加者が多く、活気があって、大会中にケンカが起きるのも楽しみの一つだった。町民体育祭は、町民同士が絆を深める場所にもなっていて、年に1度の楽しみだった」と、当時を懐かしみながら、お話ししていただきました。

～ 町民体育祭の記録 ～



同じ数字の人を探して走る運命走（1984年）



タバコを使用した競技「聖火リレー」（1987年）

町民体育祭 冬季大会 ～ 集まりンピック in ウィンター ～

町民体育祭（集まりンピック）は夏だけではなく、1975年（昭和50年）に本郷町営スケートリンクで開催された「第1回町民体育祭冬季大会」を始めとして、2005年（平成17年）開催の「第5回集まりンピック in ウィンター」まで冬も開催していました。

最後の開催となった「第5回集まりンピック in ウィンター」は、夏季大会と同じ「かしわ公園野球場」を会場として行い、7自治会、約300人の町民の皆さんの参加がありました。種目は、「宝探し」「チューブボブスレー」「三本引き」などの冬ならではの雪を利用した種目を中心に、夏季大会でもおなじみの「ムカデ競争」なども行いました。開催当日は、雪が降ったり止んだりの悪天候の中、冷え切った体をあたためるため、新町婦人会の皆さんが、JA女性部提供のおふくろ味噌を使用した豚汁をふるまい、参加者から大変喜ばれたとの記録が残っています。



みかん拾い（1988年）



ムカデ競争（1995年）



三本引き（2005年）

第10回集まりンピック ～ 3つの周年記念 ～

2010年（平成22年）に開催した、「第10回集まりンピック（第45回町民体育祭）」には、13自治会、約600人の町民の皆さんの参加がありました。この年は、「第10回集まりンピック」、「町制施行50周年」、「町民体づくりの町宣言30周年」の3つの周年が重なる記念大会でした。

当時の特徴的な種目として、自治会対抗の30人で輪になって、手をつないだまま全員がフープを潜り抜けるまでの時間を競う「30周年フープリレー」。全員参加可能な厚真町に関する町制50周年クイズ「50周年〇×クイズ」がありました。〇×クイズでは、参加者に50周年記念品として商品券を、見事最後まで勝ち残った2人には1台ずつ自転車が賞品として渡されました。

ほかにも、どのひもを選ぶかが肝心となる、箱に仕掛けられたひもを引き抜いてゴールを目指す「究極の選択」や、今でもおなじみの「ムカデ大レース in 厚真」、長縄跳びの「チャレンジ・ザ・ギネス」が行われました。



30周年フープリレー（2010年）



究極の選択（2010年）